

湖と里をとりまく自然と人のつながりの再生

かつての生きものにぎわい、人のにぎわいを取り戻すため、先人の知恵と努力に感謝し、湖と人、人と人のつながりを見直しながら、将来にわたって三方五湖の自然と人のつながりを実現します。

- テーマ1 水辺の再生と保全**
- 目標1 三方五湖の水辺では、治水機能を保ちながら、多様な生きものを育む自然豊かな水辺を取り戻します。
 - 目標2 湖岸から周辺地域では、ラムサール条約登録の理由となった自然、多様な鳥獣、トンガ魚、水生植物、水鳥などや水質を維持する水辺を取り戻します。
 - 目標3 フナやマスが田んぼで産卵する姿がみられるように、湖～田んぼの生きものをつなぐ再生を図ります。
 - 目標4 自然豊かな水辺のシンボルとして、湖と田んぼを往來する水鳥の姿と豊かな魚類が交差するワシが舞う空を取り戻します。
 - 目標5 外来生物の侵入を防ぐ水辺を目指します。
 - 目標6 三方五湖の水質浄化作用を回復させ、健全な水環境を取り戻します。
 - 目標7 湖から湖へつなぐ、三方五湖流域全体の保全・管理を図ります。
- テーマ2 「三方五湖」の自然を活かした地域のにぎわい再生**
- 目標8 福井県内外でラムサール条約登録(三方五湖)の知名度を高めます。
 - 目標9 三方五湖での魚介類の産出を促し、水産物で活躍させ、魚介類の産出を向上し、安定した供給可能な漁業を目指します。
 - 目標10 環境配慮型で、誰もが取り扱える魚介類の加工・販売を目指します。
 - 目標11 「三方五湖」を冠した魚介類・農産物などを活かした商品やサービスを展開してまいります。
 - 目標12 「三方五湖」を冠したエコツアーを開発してまいります。
 - 目標13 三方五湖での環境浄化や漁業・農業とそれを活かした加工業、サービス業での就業創出が後継事業を実現します。



三方五湖自然再生協議会

三方五湖は、福井県美浜町と若狭町にまたがる三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖の5つの湖の総称です。各湖は水路等でつながり、淡水から汽水、海水と湖の塩分濃度が変化していくほか、水深の違いなど、異なる特徴を持ちます。

三方五湖は、2005年11月にラムサール条約湿地に登録され、2019年には持続的な漁業文化が日本農業遺産に認定されました。



かつては豊かだった三方五湖の自然環境ですが、地球温暖化や私たち人間の生活の影響など、さまざまな理由により、急速に損なわれてきています。

それをくい止め、再生するため、「今、人々が一つにならなければ！」私たち、三方五湖自然再生協議会は研究や情報の共有、協議を重ねながら、自然再生に取り組んでいます。

三方五湖自然再生協議会
自然が豊かであったからこそ、わたしたち「人」も豊かに生きてきたのが、この若狭三方五湖地域です。



三方五湖とその周りには貴重な生きものがあります。ちょっとのぞいてみましょう！

三方五湖の自然は私たちに、食料、農業や漁業、文化など豊かな恵みをもたらしてきました。しかし近年、豊かだった三方五湖の自然環境は、私たちの気づかない間に急速に損なわれてきています。

そこで、三方五湖周辺流域とその周辺地域において、多様な主体によって自然再生を実現するため、三方五湖自然再生協議会を設立しました。

【三方五湖流域とその周辺地域における自然再生の目標】 一湖と里をとりまく自然と人のつながりの再生

- テーマ1：多様な魚介類がすみ、水鳥が羽ばたく水辺の再生と保全
- テーマ2：「三方五湖」の自然を活かした地域のにぎわい再生
- テーマ3：生活の中で受け継がれてきた湖の文化の伝承



設立：平成23年5月1日
 構成：地元住民、研究者、各種団体、行政等
 事務局：福井県自然環境課、福井県海浜自然センター、福井県里山里海湖研究所、美浜町産業政策課、若狭町環境安全課
 問合せ：Tel 0776-20-0306 (県自然環境課)

HP <https://goko-saiseikyou.com>

※ホームページの本格オープンは今後6年度を予定しています。先行して、令和5年10月8日(日)および11月23日(木・祝)から、それぞれ約一週間限定で公開を行います。



自然護岸再生部会

MISSION わたしたちが目指すのは... **治水と生物多様性保全が両立する自然護岸の再生**

湖のコンクリート護岸に、石や砂等を活用した自然護岸を新たに設置することにより、多様な生き物の生息環境を整備しています。石積みの護岸は湖の魚介類などのすみかとなり、砂を用いた護岸はシジミなどが好む浅場となります。



↑石倉漁礁



↑石倉漁礁の設置

環境に優しい農法部会

MISSION わたしたちが目指すのは... **「環境に優しい農法認証制度」**

農地での自然環境保全の普及のために、
①農薬・化学肥料の不使用・減量、および
②水田の生きものや自然環境を守る活動を
「環境に優しい農法」として、①と②の両方ともが行われている水田を認証しています。



このシールが目印

買って応援！
使えば応援！



↑認証を受けた水田

MISSION わたしたちが目指すのは... **濁水流出防止の取組み**

水田の代かきによって発生する濁り水が、肥料分とともに水田の外に流出することを防ぐために、普及活動と河川水の濁りの状況の調査を行っています。

濁水流出防止対策のPRのために設置したのぼり



湖と田んぼのつながり再生部会

MISSION わたしたちが目指すのは... **田んぼでのフナ・コイなどの育成、放流**

フナやコイなどが水路や水田へ遡上し、産卵が行われていた昔の水辺環境を再生するために、三方湖周辺での育成田（※1）で稚魚育成を行っています。また、菅湖周辺では休耕田（※2）を整備して育成田とし、稚魚育成を行っています。

漁業者のみならず、農業者、学校など多様な主体が環境保全に取り組んでいます。

（※1 フナやコイなどの稚魚を育てる田）（※2 米作りを行っていない田）

菅湖周辺の育成田（休耕田）



水田の稚魚



↑三方湖周辺の育成田

環境教育部会

MISSION わたしたちが目指すのは... **学校や各種団体への、三方五湖地域の自然を活かした環境教育**

地域の小学校や子どもラムサールクラブ（※4）などを対象に、体験学習や生物観察など、三方五湖の自然に触れる環境教育活動を行っています。

また、若狭町・美浜町内の子どもたちによる、かつての豊かな三方五湖の自然の姿を描いた絵を募集・公開しています。

（※4 美浜町・若狭町の小中学生を対象にした、三方五湖周辺の豊かな自然を学び、感じてもらうことを目的としたクラブ）

子どもたちが描いた水辺の風景



↑子どもラムサールクラブの活動



外来生物等対策部会

MISSION わたしたちが目指すのは... **外来生物の捕獲・除去活動**

ブルーギル、アメリカザリガニ、アカミミガメなど、三方五湖周辺の水辺の生物多様性に影響を及ぼす外来生物を捕獲・除去しています。

年間を通じた捕獲調査を行うとともに、地域住民参加型の調査活動も行っています。



↑アカミミガメの計測



↑外来生物駆除のための罠の設置

MISSION わたしたちが目指すのは... **三方湖のヒシの適切な密度管理**

三方湖に繁茂するヒシ（※3）による、生態系や漁業、湖岸沿いの集落の生活環境、景観への悪影響を防ぐため、刈り取りによる低密度化に取り組んでいます。

（※3 1年生の水草の1種（浮葉植物）で、土壌に根付いて茎を伸ばし、水面にひし形の葉を広げます。）



↑三方湖に繁茂するヒシ

シジミのなぎさ部会

MISSION わたしたちが目指すのは... **シジミの生息環境再生のためのなぎさ整備や、シジミの資源量調査**

久々子湖や水月湖にて、シジミの生育に適した浅場を再生するために、土砂を入れてなぎさを整地するとともに、シジミの資源管理のための調査を行っています。また、整備した浅場にて、シジミ採集体験や環境学習も行っています。

湖でのシジミの採集



↑なぎさの整備（水月湖）